

研究会開催通知

(昭和 52 年 10 月 14 日～11 月 30 日)

研 究 会	日	時	会 場	備 考
医療情報処理	10月14日(金)	9:00～21:00	大宗新宿ビル	前号参照
	10月15日(土)	9:00～17:00		
計 算 言 語 学	10月21日(金)	14:00～17:00	機械振興会館	同 上
データベース管理システム	11月10日(木)	14:00～17:00	機械振興会館	下記参照
ソフトウェア工学	11月10日(木)	13:30～17:00	京都産業大学	同 上
人工知能と対話技法	11月11日(金)	14:00～17:00	電子技術総合 研究所	同 上
イメージ・プロセッシング	11月22日(火)	14:00～17:00	同 上	同 上
コンピュータ・ネットワー ク	11月22日(火)	13:30～17:00	堂島大橋国際 貿易センター	同 上

◆ 第 4 回 データベース管理システム研究会

(主査: 穂鷹良介, 代表幹事: 植村俊亮)

日 時 昭和 52 年 11 月 10 日 (木) 午後 2 時～5 時

会 場 機械振興会館 6 階 67 号室

[東京都港区芝公園 3-5-8, 地下鉄: 日比谷線神谷町駅, 都営 1 号線大門駅, 都営 6 号線御成門駅下車, 国電: 浜松町駅下車, バス: 新橋一渋谷線東京タワー, 等々力一東京駅八重洲口線飯倉 1 丁目下車, Tel. 03 (434) 8211]

- 議 題 (1) 学術雑誌総合目録のコンピュータ編成について 坂本徹朗 (紀伊国屋)
- [概要] 各大学の所蔵雑誌データをもとに, 学術雑誌総合目録 (ULP; Union List of Periodicals) をコンピュータで編成した経験について報告する。
- (2) 時刻表の自動編集とファイル構造について 大竹 覚 (日立)
- [概要] 時刻表の組版を機械化するにあたり, 小型コンピュータで開発したファイル構造とメンテナンス手法について述べる。
- (3) 既存の DBMS による蛋白質構造データベースの開発 磯本征雄 (阪大)
- [概要] 既存の DBMS である IDS (チェーン型) および INQ (インバーテッドファイル型) の学術情報データベースへの適用に関連して, 蛋白質構造データベースの開発過程と実績を報告する。
- (4) 関連データベースの柔軟性のあるロジカルデザインについて 増田良文 (東北大・通研)
- [概要] 関係間関数依存性を導出して, 下向きのみならず上向き, 横向きの合成過程をも許す関係データベースの一構成法について述べる。

データベース管理システム研究会研究発表募集のお知らせ: データベース管理システム

研究会では、来年3月の研究会の発表論文を募集しています。発表を希望される方は、発表予定者名、仮題、連絡先をはがきで学会事務局（研究会担当）にお知らせ下さい。

申込み〆切：1977年11月30日（水）

原稿提出期限：1978年2月9日（木）

研究会期日予定：1978年3月9日（木）

◆ 第4回 ソフトウェア工学研究会

（主査：国井利泰，代表幹事：佐藤信男，大野尙郎，原田賢一）

日時 昭和52年11月10日（木）午後1時30分～5時

会場 京都産業大学

〔京都市北区上賀茂本山36，京都駅（京都タワー前）より市バス西賀茂行（2番，9番）に乗り上賀茂神社にて，京都バス貴船，鞍馬，広河原，静原，市原，産業大学前，花背行に乗り替え，京都産業大学前下車，Tel. 075(701)2151〕

議題 (1) Logical Program Synthesis 謝章文（京都産大）
(2) 京都産業大学において，プログラムの自動合成のデモンストレーション

なお，今回の研究会はソフトウェア工学シンポジウム（本誌1085ページ参照）の2日目のプログラムとして組み入れられています。

◆ 第2回 人工知能と対話技法研究会

（主査：田中幸吉，代表幹事：白井良明，田村進一）

日時 昭和52年11月11日（金）午後2時～5時

会場 電子技術総合研究所 A会議室

〔東京都千代田区永田町2-6-1，地下鉄：丸ノ内線国会議事堂前駅下車（首相官邸側），千代田線国会議事堂前駅下車（ヒルトンホテル側），都バス溜池下車，Tel. 03(581)0441〕

議題 (1) μ -actor を用いた知識表現と推論システム
小川均，田中幸吉（阪大・基礎工）
〔概要〕 μ -actor とDグラフ推論を用い，自然言語処理および推論を行うシステムで，幾何問題を例にして定理証明を行った。
(2) 日米セミナー「物体認識」と第5回IJCAIのセッション「Vision」
に出席して 白井良明（電総研）
(3) スペクトルデータの自動解析システム 山崎正人（電総研）
〔概要〕 トップダウン的な方法をとることにより，スペクトルデータを効率よく解釈するシステムについて報告する。

◆ 第15回 イメージ・プロセッシング研究会

（主査：尾上守夫，代表幹事：長尾真，白井良明，高木幹夫）

日時 昭和52年11月22日（火）午後2時～5時

会場 電子技術総合研究所 A会議室〔所在地は前記参照〕

議題 (1) 文字画像の2値化いきち選択法の比較研究

森 俊二, 大津展之 (電総研)

〔概要〕 種々の濃度レベルをもつ印刷文字とテキスト画像についていままで知られている方法と新しい方法の実験結果を比較検討する。

(2) 図形処理研究室紹介 森 俊二 (電総研)

(3) 電総研見学

PIPS プロジェクトの画像処理図形を行っている3つの研究室を見学する。

◆ 第13回 コンピュータ・ネットワーク研究会

(主査: 高島堅助, 代表幹事: 大島 裕)

日時 昭和52年11月22日(火) 午後1時30分~5時

会場 堂島大橋国際貿易センタービル 関西情報センター会議室4階

〔大阪市北区玉江町 2-2, 大阪駅より大阪市バス大阪港行または舟津橋行(53番線, 特53番線) 堂島大橋国際貿易センタービル前下車, Tel. 06 (448) 6631〕

議題 (1) N-1 プロジェクトにおける TIP システムの開発

浅野正一郎 (東大・宇宙研), 田畑孝一 (京大・工),
平田昭生 (電電・武蔵野通研)

〔概要〕 N-1 プロジェクトでは, ネットワーク・プロトコル, RJE プロトコルの開発並びに実証実験にひきつづき, 仮想端末 (NVT) プロトコルの実証実験を目的とした TIP システムの開発を行ったので報告する。

(2) 回線一パケット複合交換方式について

宮原秀夫, 長谷川利治 (京大・工)

〔概要〕 回線及びパケット両交換機能を有する複合交換方式についての考察を行い, これらに, より柔軟性を付加した新たな方式を提唱し, その方式における呼損率およびメッセージ伝送遅延を解析的に求め, 方式の評価を行う。

(3) 通信プロトコルの解析と評価

井上 健, 中西 暉, 真田英彦, 手塚慶一 (阪大・工)

〔概要〕 通信プロトコルの系統的な解析と評価の一手法としての Petrinet と Gert 手法を用いる方法を提案する。

(4) データ交換網の通信処理機能

吉田 裕, 飯村二郎 (電電・武蔵野通研), 高月敏晴 (電電・技術局)

〔概要〕 データ交換網(回線交換網及びパケット交換網)の基本機能及び付加すべき通信処理機能について考察し, 技術的見通しを述べる。具体的例として, 網間接続, 同報通信・代行受信等の蓄積サービス, 異プロトコル端末間の通信を可能とするプロトコル変換を取り上げる。

(5) ネットワークアーキテクチャの互換性に関する考察

苗村憲司, 奥 光, 梶原俊男 (電電・横須賀通研)

〔概要〕 ネットワークアーキテクチャの多様化の原因を分析し、新データ網プロトコル (X・25) と専用線ネットワーク用プロトコルの互換性、メタプロトコルによる変換技術について述べる。

SEr 教育についての講演会

前号でお知らせしましたように、システム・エンジニアの教育に関する講演会を開きます。一般の方の参加も歓迎いたします。

日 時 昭和 52 年 11 月 15 日 (火) 17:30~20:30

会 場 機械振興会館 B 3 研修 2 号室 (定員 120 名)

参加費 資料のある場合、実費をいただきます。

テ ー マ

- (1) SEr 教育のカリキュラム 魚木五夫 (広島修道大学)
- (2) ユーザにおける SEr 育成活動——その実践と反省——
中村文彦 (関東自動車工業)
- (3) 体験的 SEr 論 石崎純夫 (富士銀行)

NCC '78 論文投稿のお願い

前号でお知らせしましたように、1978 National Computer Conference は、昭和 53 年 6 月 5 日~8 日の間米国カリフォルニア州アナハイム (Anaheim) 市で開かれます。論文を投稿される方は必ず下記に御投稿下さいますようお願い申し上げます。

記

1. 論文投稿先

〒223 横浜市港北区日吉 3-14-1 慶応義塾大学工学部 相 磯 秀 夫

2. 投稿〆切り日

昭和 52 年 10 月 21 日 (書留郵便のこと)

3. 問合せ先

論文投稿先と同じ 電話 044 (63) 1141 内線 3320